

# 高松市立太田小学校 体力向上プラン

## 【学校教育目標】

自分・人・地域を愛し、未来を創る 太田っ子の育成  
～支え合うやさしい子 よく考え表す子 健康で粘り強い子～

## 【本校の課題】

- 男女とも握力、20m シャトルラン、立ち幅跳びでは県・全国平均をかなり下回っている。
- 1～6年生において3年生男子以外で、総合得点で県・全国平均の値を下回っている。
- 5年生は1週間の総運動時間が全国平均とほぼ同じであるが、下回っている項目もある。
- 学年が上がるにつれて、特に女子の外遊びをする時間が減っている。

## 【現状】

業間や昼休み等には元気よく運動場や遊具で遊んでいる児童も見られる。外遊びの時間を調べると、学年が上がるごとにだんだんと外で遊ばなくなってきている。高学年は委員会活動などの仕事で時間がとりにくい実態がある。また、ドッジボール等、多くの子どもたちがボール遊びやおにごっこを好み、遊具では、低学年の児童が主に遊んでいる姿が見られる。

## 【取組み】

### チャレンジカードの実施

5月から、チャレンジカードを実施する。去年に引き続き、低・中・高の3段階に分けた内容とする。体育の時間の準備運動や補助運動としても活用する。登り棒や鉄棒は筋力アップが期待できる。体力2倍アップ委員会もカードの実施を推進する。達成者には賞状を渡す。



### クラスマッチ種目の実施

3年生以上で行う。各学年の実態に合わせて仲間づくりに有効であることを知らせる。内容は学年団で相談する。

水泳（7月）、  
縄跳び（1～2月）  
は実施する。



### 体育館開放

行事や委員会などで使用しないときは、2クラスずつ担任管理のもと、積極的に体育館を開放していく。低・中・高学年に分けて、委員期末も相談し、楽しいイベントを企画し、運動の機会を増やしていく。

### 太田っ子チャレンジの実施（持久走）

11月中旬・12月・1月の業間休みに持久走を実施している。各学年週2回、外周を低・中・高学年の3つに分け、走ることで安全面・体力面に配慮している。朝は自由に走っている。太田小の校章のカードを用意し、意欲化を図っている。100周達成者と校章が浮き出た者に賞状を渡し、称賛する場を設ける。

## 【目標】

- 外遊びが好きで、進んで体力づくりをするたくましい児童を育成する。
- 1週間総運動時間の平均をH31年度末までに前年度の10分を上回るようにする。
- 体育の授業が「好き」と答える児童の割合を令和2年度中に80%以上にする。